

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

令和5年となって早くも1ヶ月が経過いたしました。皆様には誠にありがとうございます。皆様にお過ごしでしょうか。

さて、昨年を改めて振り返って見ますと、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、急激な物価上昇など、皆様にとって厳しい生活を強いられた一年であったと思いますが、その一方でポストコロナを見据えて社会が動き出した一年でもありました。

特に、愛知県は昨年11月で県政150周年という大きな節目を迎えましたが、将来の発展を牽引する象徴的なプロジェクト（6事業）が年記念事業として選定されており、その内のジブリパークについては皆様ご存知の通り、本県の更なる発展に向けた起爆剤としての役割を果たしつつあります。

また、ステーションAiや愛知県基幹的広域防災拠点等のその他の事業についても整備が着実に進められており、県政150周年記念事業を核として、安心安全で生活しやすく、且つ、日本一元気な愛知として、引き続き我が国を牽引していく地域として発展していく事を期待しております。

なお、これらの事業を推し進めるための資金的裏付けとなる来年度予算案等の審議のため、私の議員生活にとって最後のとなる定例議会が間もなく始まります。

議会では予算内容をしっかりとチェックするとともに、本会議場において一般質問を行う機会も得ておりますので、安心安全の確保の観点から「大規模自然災害発生時の指示命令システムの確保と情報伝達のあり方」についてと、産業の活性化の観点から「経済安全保障」について大きくは2項目について質問を行うべく準備を進めており、残された間も皆様の代表として全力で取り組んでまいりますので、最後までのご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。



愛知県議会議員

こ た ま よ し か ず

樹神 義和 